

安全データシート (S D S)

発行日：平成 30 年 6 月 27 日
作成日：平成 30 年 6 月 27 日
改訂日：平成 年 月 日

1. 製品および会社情報

会 社 名：南海化学株式会社
住 所：高知県高知市桟橋通 4 丁目 10-1
担当部門： ケミカル営業部
土佐ケミカル材グループ
電話番号：088-831-6191
FAX番号：088-831-3461

製 品 名 レジオスター 配管洗浄剤 C剤

2. 危険有害性の要約

G H S 分類

健康に対する有害性	：急性毒性（経口）	：区分 4
	：眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	：区分 1
	：特定標的臓器毒性（単回曝露）	区分 3（気道刺激性）
環境に対する有害性	：水生環境有害性（急性）	：区分 3
	：水生環境有害性（長期間）	：区分 3

上記に記載のない危険有害性区分は「分類対象外」、「分類できない」又は「区分外」である。

G H S ラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語

：危険

危険有害性情報

：飲み込むと有害

：重篤な眼の損傷

：呼吸器への刺激のおそれ

：長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

【安全対策】
：取扱う前に、「安全データシート」をよくお読みのうえ作業して下さい。

：粉じん、ミスト、蒸気などを吸入しないこと。

：作業時は必ず防護メガネ、炊事用ゴム手袋、マスクを着用して下さい。

【救急処置】
：飲み込んだ場合は、すぐに口をすすぎ、多量の水や牛乳、生卵を飲ませてください。無理に吐かせないで速やかに医師の診断を受けてください。

：目に入った場合は、直ちによく水で洗って下さい。コンタクトレンズをご使用の場合は、はずしてから洗眼し、速やかに医師の診断を受けて下さい。

：皮膚に付いた場合は、流水でよく洗い流して下さい。

【保管】 : 密栓した後、直射日光が当たらない冷暗所に保管する。

3. 組成及び成分表示

化学物質・混合物の区別 : 単一製品

官報公示整理番号(化審法) : 有り

官報公示整理番号(安衛法) : 有り

成分及び含有量

成分	含有量 (%)	CAS 番号
ピロ亜硫酸ナトリウム	非公開	非公開

4. 応急処置 眼に入った場合

直ちにまぶたを開いて、流水で15分以上洗浄した後、速やかに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 汚染された衣服、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。

吸入した場合 製品に触れた部分を多量の水または微温湯にて洗い流す。必要に応じて石鹼などを使い充分に洗い落とす。直ちに空気の新鮮な場所に移し、口内、鼻腔を水で洗浄し、必要な場合は医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 水を飲ませるなどの処置をし、直ちに医師の診察を受ける。

5. 火災時の処置 消火方法

不燃性につき該当せず。

消火剤 不燃性につき該当せず。

6. 漏出時の措置

保護具を着用し、ふき取る、吸い取るなどできるだけ粉塵が飛散しない方法で空容器に回収する。作業は風上で行う。

7. 取り扱い上の注意

取り扱い時 保護具を着用し、強酸及び酸化剤と急激に混合しない。屋外での取り扱いはできるだけ風上から行う。

保 管 皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないようにする。取り扱い後は、手、顔などをよく洗う。

密栓した後、直射日光が当たらない冷暗所に保管する。

8. 暴露防止措置

管理濃度 5mg/L (as SO₂) 以下

許容濃度 ACGIH TLV-TWA 5mg/m³

設備対策 多量の水を流せる設備。屋内の場合は換気設備。

保護具 状況に応じて着用する。

保護衣 状況に応じて着用する。

9. 物理/化学的性質

外観等 白色結晶性粉末、水溶液は弱酸性

におい 特異臭を有する

沸 点 不明

蒸気圧	不明
蒸気比重	不明
揮発性	無し
融 点	不明
比重又は嵩比重	1.35 g/cm ³
水溶解性	可溶

10. 安定性及び反応性	発火性	発火せず。水と反応しない。
	爆発限界	爆発性なし。
	可燃性	なし
	酸化性	なし (強還元剤)
	自己反応性・爆発性	なし
	安定性・反応性	常温空气中では徐々に SO ₂ を放出し、酸化されて硫酸ナトリウムになる。加熱により分解し、酸化ナトリウム及び二酸化硫黄の有毒ガスを発生する。
	その他の情報	特記事項無し

11. 有害性情報	皮膚腐食性	皮膚組織に損傷有り
	皮膚刺激性	刺激性有り
	眼刺激性	刺激性有り
	感作性	アレルゲンの一つである。
	急性毒性	LD50 (経口) ラット 2,000mg/kg (RTECS) LD50 (静脈) ラット 115mg/kg (RTECS)
	亜急性毒性	知見なし
	慢性毒性	歯牙酸食症、気管支炎、胃腸障害、鼻腔頭炎を起こすこともある。
	ガン原性	知見なし
	変異原性	知見なし
	生殖毒性	知見なし
	催奇形性	知見なし

12. 環境影響情報	分解性	生分解性はよい。
	蓄積性	なし
	魚毒性	240ppm/24, 48, 96hr/タップ ミネ/TL50
	その他情報	河川などに流出すると pH は酸性になる。COD 値、BOD 値が高くなる。

13. 廃棄上の注意	酸化剤で酸化処理後、中和、廃棄する。 製品の容器及び包装は各自治体の廃棄規則に従い廃棄すること。
------------	---

14. 輸送上の注意	容器の破損、漏れのないことを確かめる。 荷崩れ防止を確実に行う。 該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。
------------	---

15. 適用法令	労働安全衛生法施行令等の一部改定第18の2別表 第9「名称等を通知すべき有害物」 26
毒・劇物取締法	非該当
消防法	非該当
化学物質管理促進法	非該当

16. その他	事故・災害事例	記載される情報はない。
	問い合わせ先	製造者情報の項を参照。
	引用文献	「製品安全データシートの作成指針」 (社)日本化学工業協会編 「GHS対応ラベルおよびSDSの作成マニュアル」 厚生労働省医薬食品局

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分保障するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。
使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い致します。